



さくらちょうしょう

桜町小だより

「緑と笑顔がいっぱい桜町小」

児童数 338名 令和7年3月3日(月)



心豊かに笑顔輝く最後の月

校長 小川 哲

職員玄関脇の梅が散り始め、校内の桜の芽がたくさん膨らんできて、春がもうそこまで来ているのを感じます。

教室を回っていると子供たちの豊かな表情がいたるところで見られます。また、先生方の様々な表情も見られます。もう10年以上前の話になりますが、小学校体育の大先輩が退職の際の講話の中で、私たちに「頭のよい教員 顔のよい教員 育ちのよい教員になりなさい」と話されました。当時の私は、「頭のよい教員には、寝る時間を削ればなれるかも」と考え、寝る間も惜しんで体育に関する書籍や論文をひたすら読み漁って、子供たちと体育の授業づくりに燃えていた覚えがあります。今、本校の先生方を見ていると「顔のよい教員」がたくさんいます。年度末のここ数週間の先生方の表情は、特にとってもよいものになっています。きっとこれまでに子供たちと積み重ねてきたことが、様々な形で学級や教科、様々な場面で子供にとっても先生方にとってもお互いに心地よいものになって来たからだと思っています。今の学年、学級の仲間、先生とられる最後の一ヶ月、お互いにより顔でしっかりまとめをしてほしいと思っています。



今、校長室の前に木瓜（ぼけ）の花が飾ってあります。きれいに咲いた赤い花に目が行きがちですが、ある先生が「校長先生、こんなに蕾（つぼみ）が増えましたよ。」と教えてくださりました。恥ずかしながら、私は花ばかり見ていたので蕾が増えていることには気づいていませんでした。これは、子供たちを見る時も大切な視点だと思いました。良しにつけ悪しきにつけ目立つものばかりに目を奪われて、その子や集団の伸びようとしている部分やその過程に気づく目が大切なのだと。そして、それを価値付けたり、思う存分伸びるよう支えたりすることが私たち大人の役目だと。最後の一ヶ月、地域・保護者の皆様の引き続きのご理解とご協力をいただきながら、子供たちを伸ばしてまいります。よろしくお願いいたします。

2/25（火）桜町小・鳩中交流会として、桜町小さくら学級と鳩中6組の交流会が鳩中体育館で行われました。みんなで踊ったり、おしゃべりしたり楽しく交流したのですが、その合間に本校卒業生が一人一人あいさつに来てくれました。小学生の時の面影は残っているものの、すっかり中学生のお兄さん、お姉さんになっていて、とても嬉しかったです。ここでも学校間連携が図られ、子供たちの成長が感じられたり、自分の進学先の雰囲気に触れたりすることで、子供も先生も見通しをもって、今後の学びに取り組めることを再確認しました。素敵な時間でした。鳩中6組のみなさん、ありがとうございました。